

**台湾の高齢者ケアと外国人介護士**  
—介護の変化に伴うケアシステムを通して—

○ 福井県立大学看護福祉学部 小林 明子 (001800)

〔キーワード〕 台湾の高齢者 外国人介護士 介護の変化とケアシステム

### 1. 研究目的

本研究の目的は、台湾の高齢者ケアのシステムを特に、外国人介護士に視点を当てて整理し、特に在宅ケアが中心の台湾のケアシステムから、日本の高齢者ケアに活かせるヒントを見出すことである。その中で、特に外国人介護士を受け入れて既に20年にある台湾の経験は、日本において始まったばかりの外国人看護師・介護福祉士の導入に関して、参考にすべき点は多いことが予測される。

### 2. 研究の視点および方法

台湾における介護予防から終末期までの過程の特徴を①ケアを受ける場と②ケア提供者という視点で整理する。ケアを受ける場には、病院、施設、在宅があり、ケア提供者は、家族、台湾人介護士、そして、外国人介護士である。二つの指標に影響を与えるさらなる視点は、高齢者本人の介護状況（要介護度と医療ニーズの有無）、また、家族の状況（同居、独居）である。さらに、ヒアリング調査から前述の検証を行い、台湾における高齢者のケアシステムを図式化する。図式化は、①ケアの提供の場（病院、施設、在宅）、②ケア提供者（家族、台湾人介護士、外国人介護士）、③高齢者本人の介護状況（要介護度と医療ニーズの有無）、また、家族の状況（同居、独居）の視点で行う。

### 3. 倫理的配慮

本研究調査で扱った事例に関しては、すべて本人の許可を得ている。また、扱った施設の情報についても、施設長から、情報開示の許可を得ている。

### 4. 研究結果

台湾において、高齢者本人の介護状況（要介護度と医療ニーズの有無）、また、家族の状況（同居、独居）により、ケアの提供の場（病院、施設、在宅）とケア提供者（家族、台湾人介護士、外国人介護士）が決定することが理解できた。以下、条件によって変化する在宅、施設、病院の場におけるケア提供の在り方についてまとめた。

#### （1）条件によって変化するケア提供の場

1) 在宅ケア：ケアを受ける場には、病院、施設、在宅があり、圧倒的に多くのケアを受ける場は在宅の場であり、そのケア提供者として、第一に家族、要介護者には、外国人介護士が雇用されている。

2) 施設ケア：施設ケアも増えつつあるが、どの施設も8割前後の入居率で、定員を満たしていない。その理由は、公的施設の利用者は、低所得者または子どもなどの身寄りのいない高齢者であるというスティグマや、親の面倒は子どもが看るという一般常識がまだまだ強いからである。それに加え、民間施設の経費は高く、裕福な人でないと施設に入所は難しい。そこで、外省人や子どものいない高齢者の場合は、公的費用で施設入所が可能であるが、家族がいる場合は、施設入所よりも多少は安価で、家族と一緒にいられるという点で、外国人の住み込みの介護士の雇用した在宅が選択される。

3) 病院：入院時に要介護度が高い人は、家族の協力はもちろんであるが、24時間の付き添いができる介護士を雇わなければ、入院できない。多くの場合は、外国人介護士が、家族と個人契約を交わし入院となる。

前述の在宅における医療ケアでは、対応ができなくなった時や、急変した場合などには入院が必要となる。しかし、基本的には、長期間の入院は好まず、可能な限り早期の在宅への復帰を実施している。医療的ケアが必要な場合は、病院の訪問看護または、地域の訪問看護ステーションにつなげている。この時には、ソーシャルワーカーが調整役を担う。

(2) 台湾における高齢者のケアシステムの介護度の変化に伴うケア提供の場と提供者の図式化  
 三つの指標 (①ケアの提供の場 (病院、施設、在宅)、②ケア提供者 (家族、台湾人介護士、外国人介護士)、③高齢者本人の介護状況 (要介護度と医療ニーズの有無)、また、家族の状況 (同居、独居)) を使い、台湾の高齢者ケアシステムの介護度の変化に伴うケア提供の場と提供者について以下のように図式化した。



### 5. 考察

台湾の少子高齢化は、急速に進行している。2010年には、高齢者人口が248万7,893に達し、総人口の10.74%を占め、さらに、急激な速度で高齢化が進行しており、現在は、超高齢社会の予備軍である。台湾の高齢化は、高齢化が先行した日本以上に高齢化のスピードは速いと予測されている。台湾における高齢者ケアを概観し、ケアシステムを図式化した。台湾における高齢者ケアの状況をまとめることで、日本の外国人介護士の今後の在り方に何らかのヒントが得られると考える。今回は、大枠を整理するにとどまったが、今後さらに、台湾における外国人介護士と台湾人介護士のケア提供の在り方について研究を進め、日本の外国人介護士の受け入れに示唆を与えたい。